allcinema

大砂塵（1954）

JOHNNY GUITAR

メディア　映画
ジャンル　西部劇　ドラマ
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　109分
初公開日　1954/10/27
公開情報　リパブリック＝ＮＣＣ
リバイバル　1996/04［ヘラルド］

【解説】

１８９０年代のアリゾナを舞台に、賭博場に現れた流浪のギター弾きとかつての恋人である女主人が、駅馬車襲撃犯と自警団の争いに巻き込まれていく姿を描いた異色西部劇。

１８９０年代の西部。流浪のギター弾きジョニーがアリゾナの山奥にある賭博場へやって来た。気丈な女主人ヴィエンナはかつての恋人だったが、白昼起きた駅馬車襲撃事件の容疑者キッドを匿っているとして犠牲者の妹エマと保安官たちに嫌がらせを受け、２４時間以内の退去を命じられる。疑いをかけられたキッド一味は翌日、銀行を急襲。その場に居合わせたヴィエンナも共犯と見られ、遂に自警団はヴィエンナの店を襲い火をつけた…。

バーバラ・スタンウィックには「四十挺の拳銃」があり、ジョーン・クロフォードには「大砂塵」がある。どちらも“異色”と呼ばれるウェスタンの傑作で、主演女優の強烈な存在感が作品を支配する点において共通するものがある。実際本作も、原題にあるヒーロー（Ｓ・ヘイドン）はほんの呼び水にすぎず、映画の流れはクロフォードの鉄面皮の下を走る血管に荒々しく通っている。流浪のギター弾きジョニーはヴィエンナの賭博場に現れ、駅馬車襲撃の犠牲者の娘（Ｍ・マッケンブリッジ）と犯人一団の抗争に、女主人ともども巻き込まれる。実は、はっきりとではないが、主役の二人は悪の側であり、マッケンブリッジ（凄味のある好演）の方が“正義”なのだが、ひどく強権的でファナティックな存在として描かれ、いつしか観る者は追われる側に味方する－－という具合になる。赤狩り禍を暗に揶揄する内容とも言われる由縁であるが、米国人らしからぬ感情の裏面や混沌を描くのはＮ・レイの一貫した作家姿勢なのだ。

【クレジット】

監督	ニコラス・レイ	Nicholas Ray
製作	ハーバート・Ｊ・イエーツ	Herbert J. Yates
原作	ロイ・チャンスラー	Roy Chanslor
脚本	フィリップ・ヨーダン	Philip Yordan
撮影	ハリー・ストラドリング	Harry Stradling Sr.
音楽	ヴィクター・ヤング	Victor Young
歌	ペギー・リー	Peggy Lee
出演	スターリング・ヘイドン	Sterling Hayden
	ジョーン・クロフォード	Joan Crawford
	スコット・ブラディ	Scott Brady
	マーセデス・マッケンブリッジ	Mercedes McCambridge
	ウォード・ボンド	Ward Bond
	ベン・クーパー	Ben Cooper

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

デニス・ホッパー	Dennis Hopper
アーネスト・ボーグナイン	Ernest Borgnine
ジョン・キャラダイン	John Carradine
ローヤル・ダーノ	Royal Dano

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.